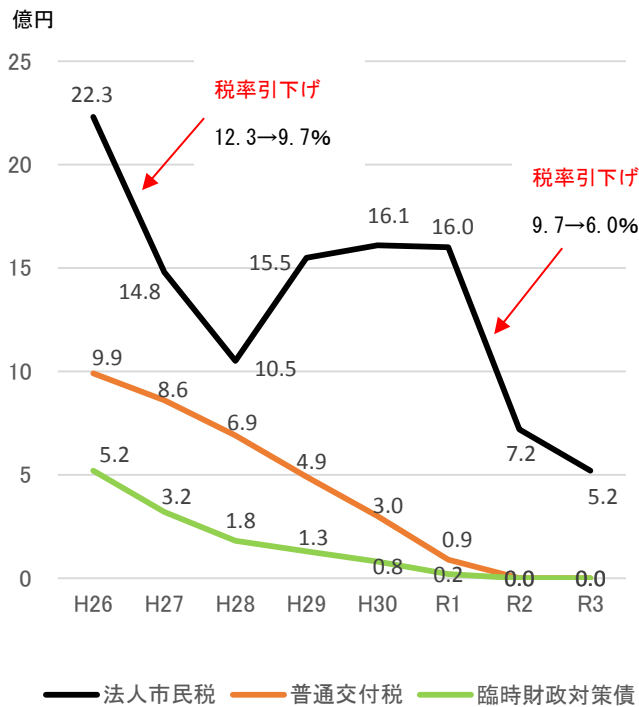


## ① 湖西市の財政状況



「法人市民税」は税率の引下げに加え、新型コロナ感染症拡大による影響から大幅な減収が見込まれます。

「普通交付税」「臨時財政対策債」は合併特例期間が令和元年度に終了し、令和2年度からは不交付となっています。

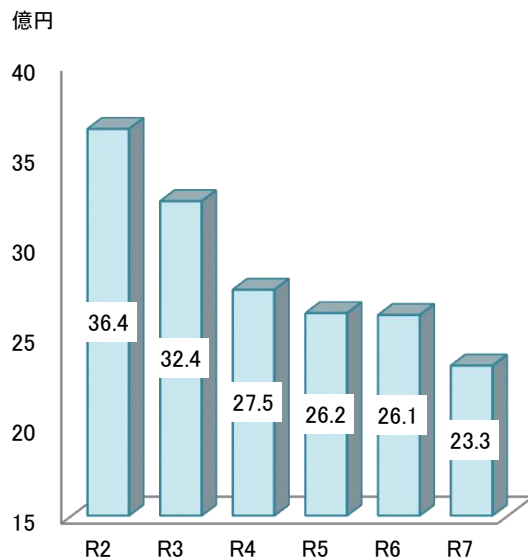
R2 法人市民税は、R1 比で 8.8 億円の減となり、歳出還付と併せると 10 億円以上の減収となる見込みです。

【財政調整基金取崩額(当初予算)】

R2 7.1 億円 ⇒ R3 12 億円

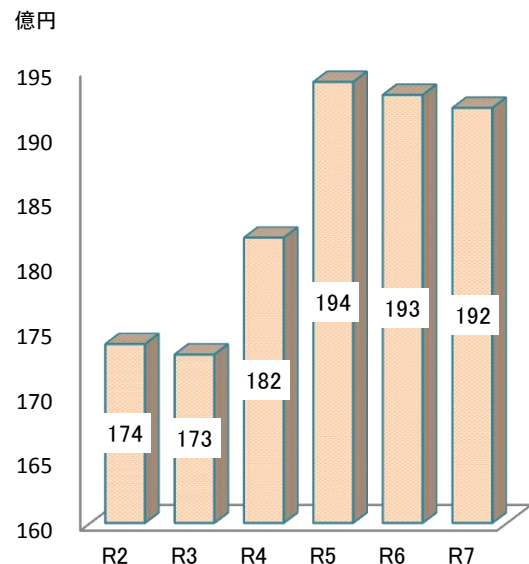
本市は、財政力指数が 1.0 を超え、普通交付税の不交付団体となっており、税収の減が交付税で補完されることがないため、不足する財源は財政調整基金の取崩しで対応していく必要があります。今後もコロナ禍の影響により、市税全体の増収が見込めず、厳しい財政状況となっています。

## ② 財政調整基金残高見込みの推移



※財政調整基金は、年度間の財源の不均衡を調整するための基金で、不況などによる市税の大幅な減少や、災害発生による予期せぬ支出の増加に備えて積み立てているものです。一般家庭の預貯金に相当します。

## ③ 一般会計の市債残高見込みの推移



※市債は、大型事業の負担が一時的に集中することを防ぎ、その恩恵を受ける世代間の負担の公平を図る観点から必要な財源ですが、借入れする額と返済する額のバランスを考えて将来の負担が大きくなりすぎないように適正な管理が必要です。一般家庭の借金に相当します。